

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	72.8%			○		
数学	59.8%			○		
英語	56.0%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%		○			
書くこと	82.6%		○			
読むこと	72.2%				○	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%			○		

【考 察】

- 「読むこと」の領域は、全国平均を上回りました。特に、短歌を読んで自分の考えを書く問題がよくできていました。授業では自分の考えを書く活動や友人と意見を交換する活動を多く設定し、繰り返し指導してきました。その結果、文章の内容を正しく読み取る力が身につけてきています。
- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を考える問題の正答率が低かったです。授業において語句の辞書的確認はその都度行ってきましたが、言葉の意味と使い方を苦手とする生徒が多く見られました。今後、授業で語句の用例を考えて書く活動を取り入れるなどして、語彙力向上を図っていきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%					○
図形	72.4%	○				
関数	40.8%	○				
資料の活用	56.3%					○

【考 察】

- 「数と式」「資料の活用」の領域は、全国平均を大きく上回りました。計算の領域では、授業で繰り返し問題に取り組みせ、週末課題や計算コンテスト等で定着を図ったことが成果として現れました。資料の活用では、用語の意味を理解し、グラフの特徴を正しく読み取ることができました。
- 「図形」「関数」の領域は、全国平均を下回りました。関数の式を求めることなどの基礎的な内容は理解できていましたが、それらを用いて文章問題の答えを求めることや、なぜそうなるかを説明したり証明したりすることを苦手とする生徒が見られました。今後は、授業の中で問題を工夫したり、生徒同士の学び合い学習を取り入れたりして、学んだことを活用する力をつけていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%	○				
読むこと	55.6%	○				
書くこと	45.8%	○				

【考 察】

- 「聞くこと」「読むこと」については、全国平均を下回りました。質問紙の結果から、英語に苦手意識をもつ生徒が多く見られますので、授業への興味・関心を高めるとともに、文法事項等について問題を繰り返し解く機会を設定して、基礎的・基本的な内容の定着を図っていきます。
- 「書くこと」については、全国平均を大きく下回りました。特に、「一般動詞の3人称単数現在時制の否定文」を書く問題の正答率が低い結果となりました。自分自身や身の回りの人物・物について英語で表現する場面を設定して、書く力を伸ばしていきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中 3	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
	東 中	8.0	36.0	54.0	2.0

(単位 %)

【考 察】

- 「している」、「どちらかといえればしている」と答えた生徒の割合が44.0%と、全国平均を下回っています。生徒は、学習・生活ノート「じぶんログ」を活用し、家庭学習の時間と内容を記録しています。自らを振り返り、それをもとに見直しをもって学習に取り組むことができるよう指導していきます。
- 限られた時間の中で、効率的に学習に取り組むことができるように、学校では具体的な学習方法について指導します。それをもとに、自分で計画を立てて学習する習慣が身につくようにします。御家庭でも御協力をお願いいたします。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
	東 中	6.0	38.0	42.0	8.0	4.0	2.0

(単位 %)

【考 察】

- 1日当たり1時間以上学習をしている生徒の割合は86.0%であり、全国平均を上回っています。計画的に学習に取り組んでいる生徒が多く見られますので、家庭学習の内容の質を高めることができるように、学習方法について具体的に指導していきます。
- 家庭学習ノートの点検を生徒の係活動に位置づけ、個々の学習状況について毎日点検しています。また、学級担任も生徒の家庭学習ノートに日々目を通していただきますので、今後も個に応じた指導・助言を行っていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中 3	全 国	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8
	東 中	2.0	8.0	24.0	20.0	20.0	26.0

(単位 %)

【考 察】

- 今年度は、1・2年生が朝読書に取り組んでいます。3年生は朝の学習に取り組んでいるため読書量は少なくなっていますが、3年生の34.0%の生徒が1日に30分以上読書をしています。
- 本校では、学校司書が週2回配置され、図書室の環境を整えています。読書には、知識を得ること、想像力を育むことなど、たくさんの効果が期待できますので、学校でも読書の時間を確保するよう工夫していきます。

4 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

		当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	11.5	27.9	38.9	21.6
	東 中	16.0	50.0	28.0	6.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合が66.0%と、全国平均39.4%を大きく上回りました。
- 本校では平成30年度より総合的な学習の時間の中に「ひがしのいまと未来科」を設定し、東商工会青年部など地域の方の協力を得ながら、自分たちが住む地域の「農業」「地域づくり」「福祉」「防災・安全」「環境」「エネルギー」「地域産業」について深く学んでいます。「地域や社会をよくするために何をすべきか」と考える生徒が多いのは、地域のいまを知るとともに、今後の課題やその解決策などについて真剣に考える「ひがしのいまと未来科」の活動によるものであると考えます。